

DENTAL NEWS



2月3日は「節分」です。みなさん、こんにちは。すずき歯科医院、院長の鈴木です。節分では「おには～そと～、ふくは～うち～」と言いながら、鬼にむかって豆まきをします。でもなぜ節分に「鬼」を退治するのかご存知ですか？

鬼といえば、角が生えていて筋肉ムキムキで虎柄の派手なパンツをはいているというイメージですね。鬼は、鬼門である丑寅の方角に住んでいるとされているので、牛(丑)の角と虎(寅)の牙をもち、虎皮の服を着ているのだそうです。

昔から災害や、病気、飢餓などの恐ろしい出来事は鬼の仕業だと考えられてきました。

新しい季節の始まりである「節分」では、これからの一年の無病無災を願って、鬼を退治するために豆まきをするようになったと言われています。また、豆まきの際には年の数だけ大豆を食べると、一年間病気にならず元気に過ごせるといわれています。お豆は、よく噛んで食べると唾液がたくさん出て虫歯予防効果もありますよ！（食べた後の歯磨きは忘れないくださいね。）



すずき歯科医院からのお知らせ



お待たせしました。駐車場が広くなりました。事故の無いようにお願いします。

患者様アンケートのご紹介

～～いつもありがとうございます～～

歯医者さんは、若年世代の代わり、ココの歯医者さん
代わり、ちゃんと来ようと思える歯医者さんです。
おんね、イッパイ、ホント いいと思います。

治療を始めてから、2ヶ月ちょっと...で終了。
虫歯大きい3本他にも黒かみあり。
おまの治療の早さに驚いています。
2年以上も虫歯を放ってしまいました。もっと早く、
鈴木歯科医院を知っていたら...と思いました。

予約の時間が、正確で待たされたいこと。

治療の説明がわかりやすいこと

スタッフの対応の笑顔で安心出来ること。

先生方が親切で治療について信頼出来ること

「歯医者、時間がかかり、治療速度が遅い」というイメージから、解放されましたね。😊

バックナンバーは、ホームページをご覧ください。

すずき歯科 伊勢崎 検索



ミュータンス菌の母子感染について

★赤ちゃんの虫歯について

皆さんは、虫歯の原因であるミュータンス菌がどこから来るのか知っていますか？

実は生まれたばかりの赤ちゃんのお口の中には、虫歯の原因菌であるミュータンス菌はいません。虫歯は感染症ですので、お母さんや、お父さん、また一緒に暮らしている家族の唾液から感染してしまうのです。



★どうやって感染するの？

ミュータンス菌は、唾液によって感染します。一番多いのは、大きな食べ物を大人が噛み砕いて口移しをしたり、大人の使っているお箸をそのまま赤ちゃんに使ってしまう。また、同年代のお友達のおもちゃを舐めてしまい感染してしまうことも考えられます。赤ちゃんの口に触れるものには十分な注意が必要です。

特に感染の危険性が高い時期が、母乳による免疫が切れ、自分で作る免疫機能が安定するまでの1歳6か月～3歳頃です。この時期は「感染の窓」と呼ばれもっとも注意が必要とされています。

★主な予防法

赤ちゃんが生まれる前には

- ・母親はもちろん、父親や同居の家族も虫歯や歯周病を治療・予防し、お口の中の虫歯菌を減らしておく。

赤ちゃんが生まれた後には

- ・食べ物の口移しをしない。スプーンや食器を大人と共有しない。
- ・食事や間食に砂糖を多く含んだ食品を摂取しない。
- ・毎日の歯磨きや虫歯予防を欠かさない。



★乳歯の虫歯は早めの健診が肝心

乳歯のむし歯は、早く発見すればするほど将来の歯並びや口腔内の状態がよくなります。乳歯の表面に艶がなくなって白く見えるようになった歯がある、歯に茶色に変色した部分がある、などを見つけたら、できるだけ早く歯科医院で検診を受けましょう。また、大人のお口の衛生環境が悪ければ悪いほど感染リスクは高まります。日ごろから家族みんなで歯科医院に定期的に通院して虫歯予防に努めましょう。正しい歯みがきと定期的なフッ素塗布で、子供のむし歯予防に大きな効果が得られます。



皆さんのライフサポーター **すすき歯科医院**

